

# 出願資格

公募推薦入試(専門高校・専門学科・総合学科対象)

次の①・②いずれかに該当し、かつ出願する学部・学科・課程・領域が定める出願資格を満たす者。

①専門高校、高等学校の専門学科、または総合学科を2025年3月に卒業見込みの者。

②朝鮮高級学校の専門学科、または総合学科を2025年3月に卒業見込みの者。

- 専門高校とは農業高校・工業高校・商業高校等専門教育を主とする高等学校を指します
- 専門学科とは高等学校の中で農業科・工業科・商業科・水産科・家庭科・看護科・情報科・福祉科・理数科・体育科・音楽科・美術科・英語科等専門教育を主とする学科を指します

## 経済学部 法学部 政策学部 社会学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

## 経営学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

以下の出願資格を満たす者。

【商業に関する学科の場合】

高等学校学習指導要領に基づく専門教育に関する教科(商業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または、卒業までに修得見込みの者に限る。

ただし、上記単位数の中に各自自治体の教育委員会が認めた商業科に関する学校設定科目(※2)を5単位まで含めることができる。

【商業に関する学科を除く専門学科・総合学科の場合】

高等学校学習指導要領に基づく専門教育に関する教科(商業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または卒業までに修得見込みの者に限る。

ただし、上記単位数の中に外国語に属する科目(※3)の単位を5単位まで含めることができる。

次のいずれかの資格を取得していること(合格証書の写しを調査書に添付すること)。

■簿記実務検定1級(全国商業高等学校協会)「会計」「原価計算」ともに合格していること ■簿記検定2級以上(日本商工会議所)

■簿記能力検定1級以上(全国経理教育協会)「商業簿記・会计学」「原価計算・工業簿記」ともに合格していること

■情報処理検定1級(全国商業高等学校協会)「ビジネス情報部門」「プログラミング部門」いずれかに合格していること ■基本情報技術者 ■ITパスポート ■情報セキュリティマネジメント

※1: ビジネス基礎、課題研究、総合実践、ビジネス・コミュニケーション、マーケティング、商品開発と流通、観光ビジネス、ビジネス・マネジメント、グローバル経済、ビジネス法規、簿記、

財務会計Ⅰ、財務会計Ⅱ、原価計算、管理会計、情報処理、ソフトウェア活用、プログラミング、ネットワーク活用、ネットワーク管理。

※2: 高等学校学習指導要領に基づく専門教育に関する教科(商業)の科目25単位に学校設定科目を含める場合は、出願者が修得した年度に関わる科目の学校設定科目設置届の写しを調査書に添付すること。

※3: 英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理表現Ⅰ・論理表現Ⅱ・論理表現Ⅲ。

## 国際学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

以下の出願資格を満たす者。

【国際文化学科】3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(外国語)の科目(※1)、および、専門教育に関する教科(英語)の科目(※2)の学習成績の状況が4.0以上であること。

【グローバルスタディーズ学科】3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(外国語)の科目(※1)、および、専門教育に関する教科(英語)の科目(※2)の学習成績の状況が4.5以上であること。普通教育に関する教科(外国語)の科目および専門教育に関する教科(英語)の科目の学習成績の状況が、4.0以上4.5未満の場合は、英語について以下の条件のうち1つを満たしていること。なお、取得したことを実施団体が証明する正式文書(写し)を高等学校調査書に添付すること。

※1: 英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理表現Ⅰ・論理表現Ⅱ・論理表現Ⅲ。

※2: 総合英語Ⅰ、総合英語Ⅱ、総合英語Ⅲ、ディベート・ディスカッションⅠ、ディベート・ディスカッションⅡ、エッセイライティングⅠ、エッセイライティングⅡ。

2022年4月1日以降に受験した資格・検定試験を有効とする

a. 実用英語技能検定(英検)2級以上 b. TOEFL iBT® 55点以上(Test Dateスコアに限る) c. TOEIC® L&R 600点以上

d. 国連英検B級以上 e. GTEC 920点以上(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください)

TOEFL®は、公式スコア票(Official Score Reports)または受験者控用スコアレポート(Test Taker Score Report)のいずれかを提出すること。

TOEFL iBT®はTest Dateスコアに限る(「My Best™ Scores」は利用できない)。

※実用英語技能検定は、英検1 day S-CBT、英検CBT®、英検2 day S-Interviewを含む(英検IBA®は除く)。※GTECはOFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください(CBTを含む)。

※TOEFL iBT®はTest Dateスコアに限る(「My Best™ Scores」は利用できない)。※TOEIC®は、L&R IPテスト・IPオンラインテストは除く。

## 先端理工学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.5以上であること。

## 農学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

農学科を志願する場合は、以下の出願資格を満たすこと。

【農業に関する学科の場合】高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(農業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または、卒業までに取得見込みの者に限る。

【専門学科・総合学科の場合】高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(農業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または、卒業までに取得見込みの者に限る。ただし、「水産」、「家庭」、「商業」の教科・科目を5単位まで上記の単位数に含めることができる。

※1: 農業と環境、課題研究、総合実習、農業と情報、作物、野菜、果樹、草花、畜産、栽培と環境、飼育と環境、農業経営、農業機械、植物バイオテクノロジー、食品製造、食品化学、食品微生物、食品流通、森林科学、森林経営、林産物利用、農業土木設計、農業土木施工、水循環、造園計画、造園施工管理、造園植栽、測量、生物活用、地域資源活用。

\*本学では朝鮮高級学校の該当12校を2025年3月31日までに修了する見込みの者については出願資格を認めています。

【朝鮮高級学校: 12校】

北海道朝鮮初中高級学校 東北朝鮮初中高級学校 茨城朝鮮初中高級学校 東京朝鮮中高級学校 神奈川朝鮮中高級学校 愛知朝鮮中高級学校  
京都朝鮮中高級学校 大阪朝鮮高級学校 神戸朝鮮高級学校 広島朝鮮初中高級学校 山口朝鮮高級学校 九州朝鮮中高級学校

# 合否判定

公募推薦入試

(専門高校・専門学科・総合学科対象)

経済学部・法学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「英語」と「エッセー」の合計点で合否を判定します。

経営学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「国語」と「面接」の合計点で合否を判定します。

政策学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「英語」と「小論文」の合計点で合否を判定します。

国際学部・社会学部・農学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「小論文」と「面接」の合計点で合否を判定します。

先端理工学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「小論文」と「数学」または「化学」の合計点で合否を判定します。

# 出願資格

公募推薦入試(専門高校・専門学科・総合学科対象)

次の①・②いずれかに該当し、かつ出願する学部・学科・課程・領域が定める出願資格を満たす者。

- ①専門高校、高等学校の専門学科、または総合学科を2025年3月に卒業見込みの者。
- ②朝鮮高級学校の専門学科、または総合学科を2025年3月に卒業見込みの者。

■ 専門高校とは農業高校・工業高校・商業高校等専門教育を主とする高等学校を指します  
■ 専門学科とは高等学校の中で農業科・工業科・商業科・水産科・家庭科・看護科・情報科・福祉科・理数科・体育科・音楽科・美術科・英語科等専門教育を主とする学科を指します

## 経済学部 法学部 政策学部 社会学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

## 経営学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。  
以下の出願資格を満たす者。

【商業に関する学科の場合】

高等学校学習指導要領に基づく専門教育に関する教科(商業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または、卒業までに修得見込みの者に限る。  
ただし、上記単位数の中に各自自治体の教育委員会が認めた商業科に関する学校設定科目(※2)を5単位まで含めることができる。

【商業に関する学科を除く専門学科・総合学科の場合】

高等学校学習指導要領に基づく専門教育に関する教科(商業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または卒業までに修得見込みの者に限る。  
ただし、上記単位数の中に外国語に属する科目(※3)の単位を5単位まで含めることができる。

次のいずれかの資格を取得していること(合格証書の写しを調査書に添付すること)。

- 簿記実務検定1級(全国商業高等学校協会)「会計」「原価計算」ともに合格していること ■簿記検定2級以上(日本商工会議所)
- 簿記能力検定1級以上(全国経理教育協会)「商業簿記・会计学」「原価計算・工業簿記」ともに合格していること
- 情報処理検定1級(全国商業高等学校協会)「ビジネス情報部門」「プログラミング部門」いずれかに合格していること ■基本情報技術者 ■ITパスポート ■情報セキュリティマネジメント

※1: ビジネス基礎、課題研究、総合実践、ビジネス・コミュニケーション、マーケティング、商品開発と流通、観光ビジネス、ビジネス・マネジメント、グローバル経済、ビジネス法規、簿記、財務会計Ⅰ、財務会計Ⅱ、原価計算、管理会計、情報処理、ソフトウェア活用、プログラミング、ネットワーク活用、ネットワーク管理。

※2: 高等学校学習指導要領に基づく専門教育に関する教科(商業)の科目25単位に学校設定科目を含める場合は、出願者が修得した年度に関わる科目の学校設定科目設置届の写しを調査書に添付すること。

※3: 英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理表現Ⅰ・論理表現Ⅱ・論理表現Ⅲ。

## 国際学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。  
以下の出願資格を満たす者。

【国際文化学科】3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(外国語)の科目(※1)、および、専門教育に関する教科(英語)の科目(※2)の学習成績の状況が4.0以上であること。

【グローバルスタディーズ学科】3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(外国語)の科目(※1)、および、専門教育に関する教科(英語)の科目(※2)の学習成績の状況が4.5以上であること。普通教育に関する教科(外国語)の科目および専門教育に関する教科(英語)の科目の学習成績の状況が、4.0以上4.5未満の場合は、英語について以下の条件のうち1つを満たしていること。なお、取得したことを実施団体が証明する正式文書(写し)を高等学校調査書に添付すること。

※1: 英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理表現Ⅰ・論理表現Ⅱ・論理表現Ⅲ等。

※2: 総合英語Ⅰ・総合英語Ⅱ・総合英語Ⅲ、ディベート・ディスカッションⅠ・ディベート・ディスカッションⅡ、エッセイライティングⅠ、エッセイライティングⅡ等。

2022年4月1日以降に受検した資格・検定試験を有効とする

- a. 実用英語技能検定(英検)2級以上 b. TOEFL iBT® 55点以上(Test Dateスコアに限る) c. TOEIC® L&R 600点以上
- d. 国連英検B級以上 e. GTEC 920点以上(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください)

TOEFL®は、公式スコア票(Official Score Reports)または受験者控用スコアレポート(Test Taker Score Report)のいずれかを提出すること。

TOEFL iBT®はTest Dateスコアに限る(「My Best™ Scores」は利用できない)。

※実用英語技能検定は、英検1 day S-CBT、英検CBT®、英検2 day S-Interviewを含む(英検IBA®は除く)。※GTECはOFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください(CBTを含む)。

※TOEFL iBT®はTest Dateスコアに限る(「My Best™ Scores」は利用できない)。※TOEIC®は、L&R IPテスト・IPオンラインテストは除く。

## 先端理工学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.5以上であること。

## 農学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

農学科を志願する場合は、以下の出願資格を満たすこと。

【農業に関する学科の場合】高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(農業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または、卒業までに取得見込みの者に限る。

【専門学科・総合学科の場合】高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(農業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または、卒業までに取得見込みの者に限る。ただし、「水産」、「家庭」、「商業」の教科・科目を5単位まで上記の単位数に含めることができる。

※1: 農業と環境、課題研究、総合実習、農業と情報、作物、野菜、果樹、草花、畜産、栽培と環境、飼育と環境、農業経営、農業機械、植物バイオテクノロジー、食品製造、食品化学、食品微生物、食品流通、森林科学、森林経営、林産物利用、農業土木設計、農業土木施工、水循環、造園計画、造園施工管理、造園植栽、測量、生物活用、地域資源活用等。

\*本学では朝鮮高級学校の該当12校を2025年3月31日までに修了する見込みの者については出願資格を認めています。

【朝鮮高級学校: 12校】

北海道朝鮮初中高級学校 東北朝鮮初中高級学校 茨城朝鮮初中高級学校 東京朝鮮中高級学校 神奈川朝鮮中高級学校 愛知朝鮮中高級学校  
京都朝鮮中高級学校 大阪朝鮮高級学校 神戸朝鮮高級学校 広島朝鮮初中高級学校 山口朝鮮高級学校 九州朝鮮中高級学校

# 合否判定

公募推薦入試

(専門高校・専門学科・総合学科対象)

経済学部・法学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「英語」と「エッセー」の合計点で合否を判定します。

経営学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「国語」と「面接」の合計点で合否を判定します。

政策学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「英語」と「小論文」の合計点で合否を判定します。

国際学部・社会学部・農学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「小論文」と「面接」の合計点で合否を判定します。

先端理工学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「小論文」と「数学」または「化学」の合計点で合否を判定します。